

科目名称	理学療法評価学
授業コード	BG152
英語名称	
学期	2024年度後期
単位	2.0
担当教員	塚田 絵里子, 松葉 潤治
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	臨床の現場で長年理学療法士として従事してきた教員が、その経験を活かして、理学療法治療を進める上での基礎となる理学療法評価の進め方について、総論および検査ごとの各論を講義する。
科目に関連する実務経験と授業への活用	理学療法治療の根拠となる理学療法評価法を理学療法士として臨床経験のある教員が各評価項目の概要を分担して講義する。
到達目標	ディプロマ・ポリシーに挙げられた、理学療法士として臨床場面において必要な評価法の知識と技術を習得できる。 以下を本科目の到達目標とする。 1. 理学療法評価の意義と進め方を理解する。 2. 理学療法各検査・測定技術の意義および概要を理解する。
計画・内容	<p>第1回：科目オリエンテーション、評価の基礎 担当教員：松葉(理学療法士)</p> <p>第2回：姿勢評価・形態測定 担当教員：松葉</p> <p>第3回：関節可動域検査の概要 担当教員：松葉</p> <p>第4回：関節可動域検査の測定方法、徒手筋力検査の概要 担当教員：松葉</p> <p>第5回：徒手筋力検査の測定方法 担当教員：松葉</p> <p>第6回：筋のまとめ（上肢） 担当教員：塚田/松葉</p> <p>第7回：痛みの評価、感覚検査 担当教員：松葉</p> <p>第8回：意識障害・全身状態の評価 担当教員：塚田(理学療法士)</p> <p>第9回：脳神経の検査 担当教員：塚田</p> <p>第10回：高次脳機能検査 担当教員：塚田</p> <p>第11回：反射・筋緊張検査 担当教員：塚田</p> <p>第12回：姿勢バランス検査 担当教員：塚田</p> <p>第13回：協調性検査 担当教員：塚田</p> <p>第14回：片麻痺機能検査 担当教員：塚田</p>

計画・内容	第15回：筋のまとめ（下肢） 担当教員：塚田/松葉
授業の進め方	【授業の進め方】 教科書に準拠しておこなう。 必要に応じて資料を配布する。 各回に授業内容を復習する課題を提示する。
能動的な学びの実施	毎回の課題を通して理解度の確認を行う。 学生への質問も活発に行う予定のため、積極的な授業態度が望まれる。
授業時間外の学修	【授業時間外の学習(合計60時間程度)】 予習：次回授業内容に関して基本的な理解を得ておく。指示がある場合はそれに従う。 復習：提示された課題を中心に教科書を見直し、講義ノートをまとめておく。
教科書・参考書	【教科書】 * リハビリテーション基礎評価学第2版,羊土社 * ベッドサイドの神経の診かた,南山堂 【参考書】 * 指定なし
成績評価方法と基準	【成績評価方法と基準】 筋のまとめ（各10%×2回=20%）と定期試験の結果（80%）として総合的に評価する。
課題等に対するフィードバック	* 各授業回に提示する課題について、授業内またはWebclass上でフィードバックする。
オフィスアワー	CampusSquare を参照
留意事項	授業内容により、教科書の「ベッドサイドの神経の診かた」を持参しなくても良い回があるため、あらかじめアナウンスする。「リハビリテーション基礎評価学 第2版」は毎回持参すること。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	授業の進め方 ・ zoomによる授業に切り替える（課題学修と組み合わせる場合がある） 成績評価 ・ 定期試験成績と授業ごとに実施する理解度確認成績、および出席状況を総合的に評価する（課題提出状況も含む場合がある）